

3月定例会の議案質疑等の内容

3月定例会(2月25日から3月17日まで開催)では、市長提出議案46件のほか、議員提出議案3件を審議しました。質疑・討論の主な内容は下記のとおりです。議案の結果については、5ページをご覧ください。

8年度一般会計予算

問 高齢者世帯等のごみ出し支援事業について、ごみステーション購入等85万8千円とのことだが、ごみステーションの設置場所は。

答 専用のごみボックスを本庁舎、各総合支所に各1基設置する。自力でごみを所定のごみステーションに出すことができない高齢世帯等の親族訪問介護員等が、曜日および時間の制約なくごみ出しができるよう支援していく。

問 青少年海外派遣事業補助金100万円の内容は。

答 姉妹都市であるアメリカ・アンチオック市への派遣事業として、中学2・3年生10人に各10万円を補助するもの。2週間の滞在を予定している。

問 秩父文学祭負担金について、7年度80万円に対し、8年度1千万円と大幅な増額の理由は。

答 7年度は事業費の大半を西武不動産に負担いただいたが、新たな秩父の観光コンテンツとして期待できることから、今後も継続的に開催していくために、市も積極的に関与すべきと判断し予算計上した。企業版ふるさと納税により500万円の寄附を見込んでおり、実質的な負担は500万円。秩父のブランド力を向上させ、新たな魅力を創出する産学官連携事業として定着させていけるよう努めたい。

問 基金繰入や市債発行が将来負担に与える影響は。自主財源比率向上に向けた具体策はあるか。また、人口減少対策の成果指標や数値目標は。事業の選択と集中はどのように進められたのか。

答 基金繰入や市債発行は将来世代への負担とならないよう調整しており、自主財源比率向上のため、収納率改善やふるさと納税の増額などに取組んでいく。人口減少や将来負担を考慮し、事業の選択と集中を徹底し、全職員へ業務見直しの周知を行い、必要な事業を効率的に実施していく。今後も継続的に見直しを行い、将来世代に過度な負担をかけない予算編成を目指していく。

問 秩父駅東側再開発基本構想策定委託料2400万円の内容は。



の様子(本庁舎4階)

答 長尾根バイパスの事業化、秩父陸橋の平面化により、秩父駅東側の再開発が可能となったことや、(仮称)宮地横瀬線の整備を検討する状況となったこと、旧秩父セメント第一工場跡地が市立病院の最有力建設候補地に選定されたことに伴い、秩父駅東側エリアを中心とした、中心市街地におけるまちづくりについて市の考え方を示す基本構想を策定するもの。なお、病院建設にあたり、旧秩父セメント第一工場跡地の用途地域が工業地域であるため、都市計画変更手続きの基礎資料としても活用できるものとして策定する。

問 (仮称)若者会議50万円の内容は。

答 市内在住・在学・在勤の15歳から25歳までの委員を15人程度募集、(仮称)若者会議を年10回程度開催し、若者の意見を市に提案していただく事業である。また、ちちぶ工房で若者が出演する番組を月1回放送し、若者が社会参加する機運を醸成したい。

問 荒川流域圏構想事業事務経費43万7千円の詳細は。

答 旅費、消耗品費、印刷製本費、会場借上料、負担金として計上している。下流域自治体等へ荒川流域圏構想への賛同や協力を呼びかけるための訪問、流域自治体や企業を招いてのシンポジウムを開催する。また、荒川流域圏構想の周知用チラシの印刷、イベントで配布する啓発品として秩父の水や木材を使用した品物の購入を予定している。

問 黒谷内田家住宅解体保存工事2750万円について、解体後の保存先とスケジュールは。

答 同地内に建物を建て、その中に再築の際に必要な部材を保存する。スケジュールについては、契約ができ次第早急に実施する。

問 がん患者用ウィッグ・胸部補正具等購入費助成金64万円の内容は。

答 購入費の2分の1、ウィッグ2万円、胸部補正具等1万円を上限に補助する。

問 敬老祝い金1923万円の内容は。

答 77歳に1万円、88歳に2万円、99歳に3万円をそれぞれ支給する。

8年度後期高齢者医療特別会計予算

討論

反対

厚生労働省は、マイナ保険証を巡り、後期高齢者への資格確認書の一律交付を見直すという。直近1年で6回以上かつ直近3か月にマイナ保険証の利用実績がある場合は、後期高齢者でも8月以降は資格確認書の交付を本人が申請しない限り交付しない方針という。例外として、マイナ保険証の保有の有無だけで交付の可否を判断する方式も選択肢として示し、判断は広域連合で行うとしていて地域で扱いに差が出る。また、更新を忘れると保険資格を確認できず無保険状態に陥る恐れがあるため、反対する。

科学大学へ2100万円の寄附を行い、東京科学大学はその寄附金を原資にちちぶ地域医療システム学講座という研究講座を設け、総合診療科の専門医取得を目指す医師1人を市立病院へ常勤で派遣する。さらに、その講座の担当教授である指導医1人を非常勤で週1日派遣する内容となっている。

8年度市立病院事業会計予算

問 東京科学大学寄附講座寄附金2100万円の内容は。

答 一般的に寄附講座とは大学への寄附金で、大学で最先端のテーマを研究し、その教員人件費や研究費を賄う産学連携の制度である。今回、市立病院では医師確保の観点から埼玉県の支援を受け、東京

7年度一般会計補正予算(第7回)

問 ふるさと納税事務委託料2472万5千円の増額とのことだが、7年度の委託料総額と、ふるさと納税の歳入予定額は。

答 各ポータルサイトの掲載料、秩父地域おもてなし観光公社の事務代行手数料、返礼品の代金等の総額は1億4294万6千円で、ふるさと納税額は3億円を見込んでいる。

問 畜産飼料価格高騰緊急対策補助金2500万円の交付先、補助率は。

答 市内の畜産業を営む農家14件に対し、7年中に購入した飼料への補助で、補助率は補助対象経費の10%である。

問 原料米等価格高騰緊急経済対策補助金1500万円の交付先は。

答 加工用米等の購入費の一部を補助するもので、清酒製造業2社、米菓製造業等20社程度を想定している。

問 予防接種事業の増額は、7年12月末に終了した带状疱疹予防接種事業の追加予算であるとのことだが、最終的にこの事業の利用者は何人となったのか。

答 6年10月から開始した带状疱疹予防接種事業の利用者は、6年度が648件、7年度が995件、合計1743件となっている。

問 新たな国庫補助金である地域未来交付金として、防災情報伝達事業災害対応備品2165万円の詳細は。

答 能登半島地震の教訓がベースとなっており、暑さ寒さ対策、快適なトイレ環境、プライバシーの確保など、災害時の避難生活の環境改善に必要な資機材を整備することに對して支援をするものとなっており、今回は暑さ寒さ対策として避難所で使用するスリッパ25台、ジェツ



3月定例会本会議

トヒーター22台、また7年度に購入したトイレトレーラーの補助的な役割として、障がいのある方や車椅子の方が利用しやすい仮設トイレを2台購入し、トイレトレーラーと併用することでなたでも利用しやすい快適なトイレ環境を整備する。また災害発生時の避難所内でのプライバシー対策として簡易テントを80個購入。秩父広域水道局が推奨する組立式給水タンクを4基購入し、本庁舎と各総合支所へそれぞれ配備し、非常時の飲料水の円滑な確保と途切れない給水環境を整備する。

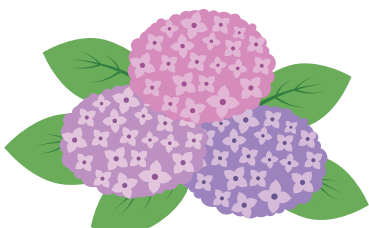
問 中学校卒業祝金932万円の詳細は。

答 中学校の卒業は義務教育終了の大きな節目であり、高校進学など次のステージに進むにも一定の費用がかかることなどから、卒業をお祝いすると共に子育て世帯に新たに経済支援を行うため、8年3月に中学校を卒業する生徒466人で一人当たり2万円の交付を行う。

工事請負契約の締結(原谷小学校校舎等)外部大規模改造工事

問 大規模改修の内容、工期および安全対策の内容は。

答 工事内容は、屋上防水や外壁の改修のほか、複合施設である温水プールや公民館も同時に行う予定である。工期は契約日から9年1月29日までを見込んでおり、夏休み期間だけでは完了せず、施工状況や働き方改革に伴う制限も考慮し、具体的なスケジュールは受注者と協議のうえ決定する。安全対策としては、工事動線と利用者動線を分離し、必要に応じて交通誘導員を配置するなど、受注者と十分協議のうえ、安全を確保して施工する。



公共施設等総合管理計画の変更

趣旨 総務省通知「公共施設等総合管理計画の策定等に関する指針」の改定に伴い、変更するもの。

問 この計画変更は、総務省指針改訂への形式的対応なのか。それとも、市として将来の施設総量や財政負担を踏まえた実質的な見直しなのか。

答 この計画は、平成27年の策定から10年を経過したことから、総務省指針改訂への対応として変更するもので、施設の利用状況や維持管理経費を可視化し、物価高騰も踏まえつつ、財政状況を考慮して、延床面積の約5%削減を目標に、市民の協力のもと進めていくものである。

市営バス条例の一部改正

趣旨 8年3月31日をもって市営バス川又線を廃止するもの。

問 川又線の現在の乗降者数は。また、利用者に対する廃止の経緯説明や理解はどのように図っているのか。

答 川又線の7年度の利用者数は、8年2月23日時点で延べ846人、1日平均約2・6人、1便あたり約0・4人となっている。秩父地域公共交通計画に基づき、4年度から大滝地域内の公共交通再編施策により川又線の廃止を検討し、

大滝地区の関係団体とも協議を重ねてきた。各区長会や理事会等を通じて丁寧に説明し、ご理解をいただいているものと認識している。

地域生活交通条例

趣旨 市営バス川又線の廃止に伴い、大滝地域の交通空白地における市民等の交通手段を確保するため、地域生活交通を維持するもの。

問 路線廃止への対応にとどまらず、将来にわたり地域生活交通を維持する制度なのか。また、財源確保や利用者減少時の対応、状況変化に応じた見直しや、デマンド交通など新たな仕組みへの展開はどのように考えているのか。

答 単なる路線廃止への対応にとどまらず、将来にわたり地域生活交通を維持する制度である。地域公共交通計画に基づき、大滝地域では国保診療所の送迎バス運行など、状況に応じた対策を講じており、必要に応じて公共交通協議会で検討・承認を得たうえで実施している。財政面や利用者減少への対応については、運転業務を集落支援員が兼務するなど効率的に運営し、課題が生じた場合は関係機関と協議して対応していく。将来的に事業者委託が可能な制度としており、地域公共交通協議会と連携しながら柔軟に検討していく。

国民健康保険条例の一部改正

討論

反対

この改正は、12年度の完全統一を目指し、国保税の値上げをするもので、賦課方式を2方式にするものである。また、4月から始まる子ども・子育て支援金に充てるために国保税に上乘せして1世帯あたり約300円が徴収される。4月から始まる「こども誰でも通園制度」の財源も市民に求めるもので、またしても負担増を強いるやり方に反対する。軍事費を積み増す国のやり方を改め、子育て支援は国の責任でやるべきである。まず保育士の待遇改善をすべきと考え、反対する。

介護保険条例の一部改正

討論

反対

国の税改正で、8年度は第一号被保険者の給与所得の控除額が55万円から65万円に引き上がる。介護事業運営に影響が出るため、税改正前の控除額を用いることで引き下げとならない市民が出る見込みであるため、反対する。

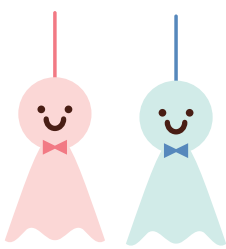
意見書

3月定例会の最終日に、議員提出議案の意見書1件が提出され、審査の結果、原案のとおり可決されました。

可決された意見書は、内閣総理大臣をはじめ、関係行政庁等に送付されました。内容については、次のとおりです。

ゲノム編集技術を活用した食品情報の取扱いに関する意見書

国においては、消費者の自主的かつ合理的な選択の機会を確保するため、引き続き知見の集約等に努め、ゲノム編集技術に関する理解醸成を進めるとともに、ゲノム編集技術を応用した食品及びそれを原材料とする加工食品の表示等を含めた消費者への情報提供の在り方について、さらなる検討を行うよう強く要望する。



3月定例会で審議した議案の結果

	議案の件名	議決結果	会派ごとの賛否						
			市民6人	まほ5人	公明2人	新政1人	無会派 出浦 黒澤		
如 分 決	一般会計補正予算(第6回)	承認	○	○	○	○	○	○	
	財産の取得(追認)	原案可決	○	○	○	○	○	○	
	市道路線の認定	原案可決	○	○	○	○	○	○	
	市道路線の変更	原案可決	○	○	○	○	○	○	
	市道路線の廃止	原案可決	○	○	○	○	○	○	
	第3次秩父市総合振興計画基本構想の策定	原案可決	○	○	○	○	○	○	
	横瀬町、皆野町、長瀬町及び小鹿野町とのちちぶ定住自立圏形成協定書の変更	原案可決	○	○	○	○	○	○	
	過疎地域持続的発展計画の策定	原案可決	○	○	○	○	○	○	
	公共施設等総合管理計画の変更	原案可決	○	○	○	○	○	○	
	工事請負契約の締結	原案可決	○	○	○	○	○	○	
	そ 他	手数料徴収条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○
		行政組織条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○
市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正		原案可決	○	○	○	○	○	○	
一般職員の給与に関する条例等の一部改正		原案可決	○	○	○	○	○	○	
市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正		原案可決	○	○	○	○	○	○	
監査委員に関する条例等の一部改正		原案可決	○	○	○	○	○	○	
市営バス条例の一部改正		原案可決	○	○	○	○	○	○	
国民健康保険条例の一部改正		原案可決	○	○	○	○	×	○	
農業集落排水処理施設条例等の一部改正		原案可決	○	○	○	○	○	○	
地場産業センター条例の一部改正		原案可決	○	○	○	○	○	○	
学校設置条例の一部改正		原案可決	○	○	○	○	○	○	
介護保険条例の一部改正		原案可決	○	○	○	○	×	○	
条 例	乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	×	○	
	特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例	原案可決	○	○	○	○	×	○	
	地域生活交通条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	
	議 案 の 結 果	一般会計補正予算(第7回)	原案可決	○	○	○	○	○	○
		国民健康保険特別会計補正予算(第4回)	原案可決	○	○	○	○	○	○
		後期高齢者医療特別会計補正予算(第2回)	原案可決	○	○	○	○	○	○
		介護保険特別会計補正予算(第3回)	原案可決	○	○	○	○	○	○
		市立病院事業会計補正予算(第4回)	原案可決	○	○	○	○	○	○
		下水道事業会計補正予算(第3回)	原案可決	○	○	○	○	○	○
		一般会計予算	原案可決	○	○	○	○	×	○
		国民健康保険特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	×	○
		後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	×	○
介護保険特別会計予算		原案可決	○	○	○	○	×	○	
公設地方卸売市場特別会計予算		原案可決	○	○	○	○	○	○	
駐車場事業特別会計予算		原案可決	○	○	○	○	○	○	
令 和 7 年 度 補 正 予 算	市立病院事業会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	
	下水道事業会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	
	固定資産評価審査委員会委員(戸井田 修氏)の選任	同意	○	○	○	○	○	○	
	固定資産評価審査委員会委員(山崎克則氏)の選任	同意	○	○	○	○	○	○	
	固定資産評価審査委員会委員(渡辺智信氏)の選任	同意	○	○	○	○	○	○	
	固定資産評価審査委員会委員(山中令子氏)の選任	同意	○	○	○	○	○	○	
	教育委員会委員(浅海純一氏)の任命	同意	○	○	○	○	○	○	
	人権擁護委員候補者(池田和美氏)の推薦	同意	○	○	○	○	○	○	
	人権擁護委員候補者(小池正一氏)の推薦	同意	○	○	○	○	○	○	
	ゲノム編集技術を応用した食品情報の取扱いに関する意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	
	市議会委員会条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	
	市議会議員政治倫理条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	
令 和 8 年 度 予 算	市民クラブ	○	○	○	○	○	○	○	
	まほ:まほろば	○	○	○	○	○	○	○	
	公明:公明党	○	○	○	○	○	○	○	
	新政:新政ちちぶ	○	○	○	○	○	○	○	
	無会派:会派に属さない議員	○	○	○	○	○	○	○	
	※議長は人数に含まれていない。								

○:賛成 ×:反対

市民:市民クラブ まほ:まほろば 公明:公明党 新政:新政ちちぶ
無会派:会派に属さない議員 ※議長は人数に含まれていない。

人事案件

固定資産評価審査委員会委員の選任、教育委員会委員の任命、人権擁護委員候補者の推薦について意見を求められ、市議会は次の方を適任と認め同意することに決定しました。

固定資産評価審査委員会委員

戸井田 修 氏

山崎 克則 氏

渡辺 智信 氏

山中 令子 氏

教育委員会委員

浅海 純一 氏

人権擁護委員候補者

池田 和美 氏

小池 正一 氏

